

# ミステリ読書案内

2024. 2. 12 発行元

第551号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## アイリッシュ「ベスト表」(再掲)

今回は「アイリッシュ」の方を題名にしてみた。コーネル・ウールリッチ名義で出された本とウィリアム・アイリッシュ名義で出された本があり、どちらの名義でも有名である。『ベスト表』を再度取り上げておく。

### 「幻の女」が一番の代表作

以前の『代表作』の号では『幻の女』『暁の死線』『アイリッシュ短編集1』の三冊を取り上げた。今回は『喪服のランデブー』にしようかと思いつきながらも考え直して『黒いアリバイ』と『黒衣の花嫁』の二冊を選んだ。初期の「ブラック・シリーズ」と名付けられた作品群の評価が高い。それは右に掲げた『ベスト表』を見てもらえばよくわかる。

後期の長編は内容が似たような傾向になってしまい、文章そのものも輝きが薄れていく傾向にある。初期作品には当時の歌や映画からの引用とみられる工夫が全編に渡ってちりばめられているが、後期は全体に重苦しさだけが中心になってしまう印象である。

私はアイリッシュの魅力がよく出ているのは短編だと思っている。是非『短編集』を手にとってほしいと願っている。

### 「黒いアリバイ」

1942年の作。私の手元にある本は1972年の講談社・世界推理小説大系の第5回配本の第9巻。ハメットの『赤い収穫』との合本になっている。黒い箱入りの全集本。今手にしてみると厚し重いし二段組みで行間も狭く活字も小さくて本当に読みにくい。当時としてはこれが当たり前だったのだけれども。訳は稲葉明雄。現在は創元推理文庫が手に入れやすいようだ。

南米を舞台にしている。旅回りの劇団がシューダ・レアルの街にやってくる。女優のキキ・ウォーカーは宣伝のために黒豹を連れて街を歩く。ところがその黒豹が逃げ出してしまったのだ。キキとマネージャーのマンシング、そして警察が探すのだが見つけることができない。そうこうしているうちに若い女性が食いちぎられたような悲惨な姿で殺されているのが発見された。被害は更に広がって…。それぞれの被害者のエピソードを取り入れて話は進んでいく。アイリッシュの迫真の描写がサスペンスを盛り上げて…。さて、逃げた黒豹は…という流れ。

### 「黒衣の花嫁」

1940年の作。「ブラック・シリーズ」の第一作になる。私の手元にあるのは1983年のハヤカワ・ミステリ文庫。訳は稲葉明雄。(記者あとがきの日付が一九五八年になっているの誤植。昭和五八年の間違い。第二版では修正されたはず) この年、『ひと夏の復讐』の題名でテレビ・ドラマになり、十朱幸代が主演を勤めた。文庫の表紙にもその写真が使われている。『黒衣の花嫁』はアイリッシュの原作よりも映画の方が知られており、ネット上でも映画のDVDが上位に表示されるようだ。

冒頭、ジェリーと名乗る女性が、友達に別れを告げてグランド・セントラル駅からシカゴへ行く列車に乗るシーンから始まる。彼女はすぐ次の駅で下りるとニューヨークに舞戻り、隠れ家のような部屋に入る。そして、靴についているイニシャルを切り取り、衣類にも同様の処置を進めていく。そして、ひとりの若い男の写真を取り出し、長い間見つめた後マッチで火をつけ、「さよなら」と囁いて流してしまう。そこから次の秘められた行動が暗示されることになる。この後はブリスという男から順にミッチェル、モラン、ファーガスン、ホームズと章が分かれていて、近づいてくる女性があつて…。結婚式へ向けての動きが展開されて…。「黒衣の花嫁」による復讐劇が進行していく。冷酷な殺人鬼とは言うものの…底に流れているものは…。

### 《C・ウールリッチ作品のベスト表》

1. 幻の女
2. 暁の死線
3. 喪服のランデブー
4. 黒衣の花嫁
5. 黒いカーテン
6. アイリッシュ短編集3 飢
7. 黒い天使
8. 黒いアリバイ
9. アイリッシュ短編集2 飢
10. 死刑執行人のセレナーデ
11. アイリッシュ短編集4 飢
12. 恐怖の冥路
13. アイリッシュ短編集1 飢
14. アイリッシュ短編集6 飢
15. 野性の花嫁
16. 死者との結婚
17. 睡眠口座 (短) ポケミス
18. アイリッシュ短編集5 飢
19. さらばニューヨーク (短) 晶文
20. 暗闇へのワルツ
21. 夜は千の眼を持つ
22. ぎろちん (短) ポケミス
23. 聖アンセルム9 2 3号室
24. 夜の闇の中へ
25. 運命の宝石
26. 死はわが踊り手
27. 恐怖
28. 今夜の私は危険よ (短) ポケミス

短編集に関しては日本で独自に編集されたものであり、出版社によって収録作品にダブリがある。一番まとまっているのが創元推理文庫版の『アイリッシュ短編集』である。